

# 「くまもと技術革新・融合研究会(RIST)」 設立30周年にあたって

熊本市長  
大西 一史



くまもと技術革新・融合研究会が設立30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。また、会員の皆様には、日頃から市政の推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

くまもと技術革新・融合研究会におかれましては、平成元年に「熊本知能システム技術研究会」として設立以来、30年もの長きにわたり、産学官共同での新しい製品開発や技術革新を通じて、地域産業の技術高度化や関連企業の振興に多大なるご貢献をいただいております。さらには、異分野で活動されている方々の技術や課題の共有を図り、新しい技術やビジネスモデルなどの創出を目指すとともに、農商工連携・医工連携関連のフォーラムや公共交通政策に関する検討会を開催されるなど、数々の活動を積極的に展開していただいております。

これもひとえに、末吉会長をはじめ、歴代の会長、並びに関係者の皆様方の多大なるご尽力の賜物と深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、早いもので、熊本地震の発生から3年が経過しました。これまで国内外の多くの皆様から温かいご支援とご協力を賜りますとともに、市民の皆様などの懸命なご努力によって、復旧・復興は確実に進んでいるところでございます。

この間、貴研究会におかれましては、被災による企業活動の停止や縮小をはじめ、再スタートに向けての施設や設備の復旧など、地場企業の皆様方が数々の困難に直面している中で、様々な事業

を積極的に推進され、復興の大きな一助となつていただきましたことに、改めまして深く感謝申し上げます。

本市としましては、今後も、震災からの復旧・復興を最優先として、恒久的な住まいの再建をはじめ、住まい確保後の生活支援、見守りやコミュニティづくりなど、被災者の将来への安心を確立していくほか、地域経済を牽引する中心市街地の活性化や誰もが分かりやすく利便性の高い交通体系の実現など、未来への礎づくりを着実に進めてまいりたいと考えております。

とりわけ、経済分野におきましては、産学官連携等による地場企業の技術革新や販路開拓などへの支援をはじめ、医工連携を中心としたヘルスケア産業、地球温暖化に対応する環境・エネルギー関連産業などの成長産業の振興に取り組み、地場企業の経営基盤の強化や競争力強化などを図ってまいり所存でございます。

このような取組を進めていくには、皆様方のご協力が不可欠でございます。今後とも、皆様方には、本市産業の更なる発展のため、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、くまもと技術革新・融合研究会が設立30周年を契機として更なる発展を遂げられますようご期待申し上げますとともに、皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、お祝いのご挨拶といたします。